令和元年度河内採択地区教科用図書採択協議会議事録（議事要旨）

令和元年７月１０日（水）午前８：５０～・１１日（木）午前９：００～
宇都宮市教育センター　コミュニティホール

【出席委員】
小堀茂雄会長，森田良司副会長，清島康伸委員，伊藤三千代委員，櫻井定一委員，
吉田由美委員，井口智文委員，丸山剛史委員，福田治久委員，河合美由紀委員
（小学校）
口川和伸委員，小松俊雄委員，熊倉仁委員，柴山洋委員
（中学校）
田中芳浩委員，氷室清委員，手塚宏行委員，藤田正義委員
【事務局】
事務局長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課長，宇都宮市教育委員会教育センター所長），事務局次長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導グループ係長，宇都宮市教育委員会教育センター相談グループ係長），書記（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導主事，宇都宮市教育委員会教育センター指導主事，上三川町教育委員会事務局教育総務課指導主事）　計２４名
【傍聴者】
１１名

（第１日）

１　開会

２　協議会委員紹介

３　会長あいさつ

４　事務連絡

事務局が，令和２年度教科用図書採択事務における日程や採択事務の手順等について説明した。

５　議事

（１）報告事項
① 河内採択地区教科用図書採択協議会規約について
② 令和元年度教科用図書採択事務について
③ 令和２年度使用教科用図書の採択の基本方針について
④ 調査研究における観点について
⑤ 特別支援学級用教科用図書等について

（２）選定協議及び採決
① 小学校国語
② 小学校書写
③ 小学校社会
④ 小学校地図
⑤ 小学校算数
⑥ 小学校国語，書写，社会，地図，算数の採決
⑦ 小学校理科
⑧ 小学校生活
⑨ 小学校音楽
⑩ 小学校図画工作
⑪ 小学校理科，生活，音楽，図画工作の採決
⑫ 小学校家庭

⑬　小学校保健
⑭　小学校英語
⑮　小学校道徳
⑯　小学校家庭，保健，英語，道徳の採決

6　事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

7　閉会

（第２日）

1　開会

2　事務連絡

事務局が，令和元年度教科用図書採択事務における日程や採択事務の手順等について説明した。

3　議事

（１）報告事項
①　特別支援学級用教科用図書等について

（２）選定協議及び採決
①　小学校特別支援学級
②　小学校特別支援学級の採決
③　中学校特別支援学級
④　中学校特別支援学級の採決
⑤　中学校国語，書写，地理，歴史，公民，地図
⑥　中学校数学，理科，音楽（一般），音楽（器楽合奏），美術
⑦　中学校保健体育，技術，家庭，英語
⑧　中学校国語，書写，地理，歴史，公民，地図，数学，理科，音楽（一般），音楽（器楽合奏），美術，保健体育，技術，家庭，英語の採決

4　事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

5　閉会

１　種目　<u>　国　語　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　(「⇒」は，説明員の回答)

・　学校図書における古典入門期の教材について指摘があったが，具体的にどういうことか，説明願う。

⇒　学校図書は「宇治拾遺物語」や，「盆山（狂言)」などが取り上げられているが，入門期には，「平家物語」や「枕草子」等の名の通った教材を取り上げ，児童に共通の基盤をつくることが望ましいと考えられる。

・　論理的思考力の育成について，今回の国語科学習指導要領の改訂では取り上げられたが，調査員会で検討されたことについて，説明願う。

⇒　各発行者とも，思考に関わる言葉を整理して伝えるページを用意するなど，工夫が見られる。東京書籍は，単元の始めに「言葉の力」で身に付ける力を明確に示し，振り返りで力の定着状況を確認できるよう構成されていた。

・　ＱＲコードについて，どのようなものを見ることができるのか，説明願う。

⇒　教材の作家の記念館（ホームページ）にリンクしたり，教科書会社のリンクにより動画が見られるものであったりした。ただし，まだ製作中でコンテンツが見られない出版社もあったため，比較の対象とはしなかった。

・　入門期の平仮名の習得について特徴的な出版社はあったか，説明願う。

⇒　大きな差異は見られなかった。生活科の指導との関連で，横書き表記の取扱いについては話題になった。

・　新聞作成について取り上げられていたが，どのようなことか，説明願う。

⇒　リーフレットなどを先に取り上げる教科書会社もあるが，他教科において新聞作りをすることが多いことから，新聞作りを先に取り上げる方が望ましいと考えられる。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，全単元の導入「つかむ」で課題解決的な学習ができるよう構成されているとともに，ねらいとする言語活動をはっきり提示し，見方・考え方を豊かにするよう工夫されている。
・　また，読書単元や図書館活用について学ぶ単元が配置されていたり，著名人の読書とのかかわりについての文章を掲載したりするなど，読書への興味・関心が高まるよう工夫されている。
・　さらに，各単元の学習で身に付けさせたい力を「言葉の力」として単元冒頭と単元末に提示することにより，どんな力を身に付けるのかが分かるよう配慮されている。

１　種目　__書　写__

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考１」「参考２」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　学習過程について，東京書籍を評価しているが，具体的に説明願う。

⇒　全学年とも巻頭に一年間で学ぶ内容が分かりやすく示されており，児童が見通しをもって主体的に学習に臨むことができると評価した。

・　毛筆について，朱墨による表記の意味を確認したい。

⇒　筆の穂先が通る部分や筆圧の強弱等について，色の濃さなどにより示されたものである。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，学習過程について，見通しをもつとともに学習内容を把握することができるようになっている。

・　また，全学年とも「書写のかぎ」を設定し，学習ポイントが系統的に分類されている。

１　種目　＿社　会＿

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　５年生，６年生でそれぞれ分冊されている教科書について，調査委員からどのような意見が出たのか，説明願う。

⇒　東京書籍では，６年生について，「政治・国際編」と「歴史編」の分冊になっている。学習指導要領の記載順で使用した場合，まず,「政治・国際編」，次に,「歴史編」，最後に「政治・国際編」となるため，準備の際に児童が迷うという意見が出る一方，ランドセルの重量を軽くできるなど，一長一短があるという意見が出た。

・　導入において，児童の興味を引き出すような資料の提示や効果的なまとめ方をしている発行者について，説明願う。

⇒　まず，学習問題の提示とまとめまでの学習過程については，各社とも配慮されている。また，東京書籍では，４年生の廃棄物を処理する事業の単元においては，宇都宮市の事例を取り上げ，燃えるごみの量の多さを表す資料を提示するなど，身近な問題として実感できるよう工夫されている。

・　児童が，日本国憲法と生活とのつながりを実感できるよう，どのような導入の工夫がなされていたか，説明願う。

⇒　各社とも，くらしの中の法やきまりという身近な視点から，児童が親しみを持てるような導入を工夫していた。

・　歴史認識や教育勅語などの扱いについて，説明願う。

⇒　中国との戦争や領土の問題については，各社とも検定基準を満たしており，ほぼ同じ内容で記述がなされていたため，歴史認識において，大きな差異はないと考えられる。また，教育勅語については，中学校での学習内容となっている。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習過程が示され，問題解決的な学習が主体的に進められるように配慮されているとともに，「まなび方コーナー」が示され，学習技能が習得できるよう工夫されている。

・　また，単元の内容に応じた多様なまとめ方が示され，学習過程の「いかす」場面では，自分にできることを考えたり，選択・判断したりする学習が充実しており，主体的・対話的で深い学びになるよう十分配慮されている。

・　さらに，宇都宮市のクリーンパーク茂原の事例が取り上げられており，児童が興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮されている。

１　種目　<u>　地　図　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

　調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

　調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　地理の学習だけでなく，歴史・公民の学習においても活用できるような配慮はあるか，説明願う。

⇒　帝国書院は，日本の歴史と世界遺産，日本と世界の結びつき及び日本の領土とその周りなどの特設ページが設けてある。一方，東京書籍は，日本の歴史「世界とのかかわり」，日本の歴史と文化「日本の世界遺産」，及び日本とその周りなどの特設ページが設けてある。

・　発達の段階が考慮されているとはどのようなことか，具体的に説明願う。

⇒　新学習指導要領では，３年生から地図を活用することになり，各社とも最初の数ページにわたり地図の活用の仕方が丁寧に掲載されている。帝国書院ではさらに，「広く見わたす地図」，「都道府県を見る地図」，「世界の地図」と発達の段階にあわせて活用しやすい工夫がみられる。

・　地図の表し方についての各者の違いについて，説明願う。

⇒　帝国書院は地形と土地利用を合わせた形で掲載しているため，一度に全体を概観できる。一方，東京書籍は，地形と土地利用を別ページに分けて掲載している。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　帝国書院　）

（２）主な理由

・　本書は，地図帳の活用の仕方について丁寧に説明されており，３年から６年までどの学年にも発達の段階に応じて活用できる工夫がされている。

・　また，「地図のやくそく」，「地図帳の使い方」，「広く見わたす地図」，「都道府県を見る地図」，「世界の地図」と各学年で学習する内容に合わせて配列する配慮がされている。

・　さらに,「地図マスターへの道」で,主体的に地図帳を活用しながら,社会的な見方・考え方を働かせながら調べる工夫とともに,問いかけについて話し合うことで,対話的で深い学びになるよう配慮されている。

１　種目　<u>　算　数　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

　調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考１」「参考２」参照）

（２）教科書閲覧

　調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　各教科書において，児童の個人差への対応について配慮されているか，説明願う。

⇒　巻末の練習問題などにおいて，基本的な問題と発展的な問題の両方が用意され，習熟の程度に応じた学習ができるようになっている。また，問題解決においては，吹き出し等により一人一人が考えを進めるためのヒントが丁寧に示されている。

・　新学習指導要領においては，簡単な割合について４年生から学習することになっているが，５年生においてもつまずきやすい考え方をこれまでより１学年早く取り扱うためには，導入教材の工夫が必要であると考える。既習事項を生かすなどの工夫が見られる例について，説明願う。

⇒　野菜の値上げや動物の親子の体長など，各教科書において児童にとってイメージしやすい場面が取り上げられている。特に値上げについては，より身近であるとともに，差の見方と割合の見方を比較できる取り上げ方になっており，工夫されている。

・　低学年において，かけ算九九や時計の読み方など，つまずきやすい内容について家庭で保護者と一緒に学習できるような工夫は見られるか，説明願う。

⇒　かけ算九九については，九九カードを用いたペア活動など，家庭において保護者と一緒に取り組める内容が各教科書において取り上げられている。また，時計の読み方については，教育出版などにおいては学年内の早い時期に単元が設定され，授業で学習した後に，日常生活において実際に使いながら習熟を図れるよう工夫されている。

・　発達の段階を踏まえ，高学年においても，巻末の付録を活用した工作的な学習は必要であるのか，説明願う。

⇒　頭の中での思考も大切であるが，実際に目に見える形で作業することが理解の深まりにつながったり，作業の過程が思考を促したりするため，高学年においても，

作業や体験を通した学習は大切であり，新学習指導要領においても重視されている。

・　教科の特性として系統性が強い算数・数学においては，小学校６年間での学習をしっかりまとめて，中学校の数学へ円滑に接続することが大切であるが，６年間の学習のまとめ，振り返りについて特に工夫されていた教科書はあるか，説明願う。

⇒　各図書とも，６年生の教科書の巻末等において６年間の学習のまとめなどが掲載されている。例えば，教育出版の「学びのマップ」では，小学校の各学年で学習した内容について，多くのページを割いて詳しくまとめられている。

・　新学習指導要領において新しく設定された領域である「データの活用」において，学習のつながりについてどのように取り扱われているか，説明願う。

⇒　学年が上がるにつれ，調べる内容を決めてから計画を立て，データを集めて整理，分析し，結論を出すといった統計的に問題を解決する過程が重視された取り扱いになっているとともに，一つ一つの過程が明確に示され，児童が意識しながら学習できるように工夫されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　教育出版　）

（２）主な理由

・　本書は，巻頭で数学的活動による学び方が示されるとともに，単元内に学習の流れなどを側注で示したモデルページが設定されており，具体的な問題解決を通して主体的・対話的で深い学びの実現を図ることができるよう工夫されている。

・　また，巻末の「ステップアップ算数」では，「きほんの問題」と「ジャンプ問題」が設定されており，習熟の程度に応じて問題を選択できるよう配慮されている。

・　さらに，日常生活において実際に使いながら習熟を図ることが効果的である単元を学年内の早い時期に位置付けるなど，学習内容の特性等に配慮した配列に工夫が見られる。

１　種目　<u>　理　科　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答)

・　学習指導要領には，目標に「自然を愛する心情を育てること」が掲げられているが，その内容について，各者に違いがあるか，説明願う。

⇒　様々な特徴はあるが，各者とも，「自然を愛する心情」が育つよう配慮されている。

・　宇都宮市では，児童の実験・観察の技能についての定着が低いことが課題になっている。各者では，実験・観察の技能が高めることができるような配慮として，どのような差異がみられるのか，説明願う。

⇒　各者とも特徴はあるが，啓林館の教科書は，特に細かい配慮がなされていた。

・　学習指導要領では，６学年理科にプログラミング教育の例示があるが，各者の掲載状況等について，調査員会の中で話題にあがったかどうか，説明願う。

⇒　話題になり，内容について確認した。各者ともに，様々な特徴があるが，その内容量等には違いがあり，特に啓林館と大日本図書については，多くのページ数を割いていることを確認した。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照)

（１）選定した発行者　（　新興出版社啓林館　）

（２）主な理由

・　本書は，各単元に「問題をつかもう」，「結果から考えよう」や「活用しよう」が掲載されており，主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。

・　また，「注意マーク」の他，「保護眼鏡」「かん気」「はい液」「けが」「やけど」「強い光」のマークを示すことで安全にも配慮されている。

・　さらに，文字の大きさが適切で，レイアウトも整理されており，児童にとって見やすいように配慮されている。

１　種目　__生　活__

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　生活科を教える教員から見ての使いやすさや特徴についてはどうか，説明願う。

⇒　各者とも工夫されているが，特に板書や吹き出しによる気付きの例が掲載されている教科書は，若手教員にとっても使いやすいと考えている。

・　スタートカリキュラムの掲載についての優れている出版社はどこか，説明願う。

⇒　大観点２の（1）に記載があるように，◎のついている３者に優劣はないと考えている。

３者については上巻の導入にスタートカリキュラムについて詳細に記載されており，保護者，児童，教員それぞれにとって使いやすくなっている。

・　植物や昆虫等への安全性の指導についての各出版社の掲載はどうか，説明願う。

⇒　生活科は校外に出る機会が多いので，安全面の指導については，どの出版社も工夫して掲載されている。

・　中学年以降の学習の接続についてはどうか，説明願う。

⇨　どの出版社も中学年以降の学習を意識して掲載されているが，特に啓林館では，３年生へのステップブックが巻末に掲載され，円滑に接続できるよう工夫されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　新興出版社啓林館　）

（２）主な理由

・　本書は，各単元の流れを導入（わくわく），活動（いきいき），振り返り（ぐんぐん）の三段階で表示しており，段階的な学習活動が行えるよう配慮されている。

・　また，すたあとぶっく「がっこうだいすきあいうえお」の単元を設定し，スタ

ートカリキュラムへの手がかりが丁寧に示されている。

・　さらに，３年生へのステップブック「みらいにむかって」では，生活科での学習により高まった意欲や身につけた自信を中学年以降の学習へ円滑に接続できるよう工夫されている。

１　種目　<u>　音　楽　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考１」「参考２」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　身の回りの音を探して音楽をつくる活動とは，何年生が具体的にどのようなことをするのか，説明願う。

⇒　１年生で，見つけた音で呼びかけ合うということで，教室の中で，鉛筆の音やボールの音を見つけて，声遊びをしようという学習である。学校の立地条件等で変わるが，室内に限るとある程度限定される音になるという意見があった。

・　音楽科において主体的に学んでいくことは難しいと感じるが，教科書の中でどのような工夫があるのか，説明願う。

⇒　教育出版社では，「まなびナビ」が示されており，児童が見通しを持って，主体的に学習できるような工夫がされている。また，「音のスケッチ」の音楽づくりの場面でも対話的な学びができるような工夫がされている。また，教育芸術社では，音づくりの場面で，図形カードで視覚に訴える工夫がされている。

・　技能の個人差への対応としてどのような工夫があるのか，説明願う。

⇒　リコーダーや鍵盤楽器の対応として，どちらも楽器の写真や挿絵が見やすく掲載されていたが，特に教育出版社では，実際の写真などが用いられており，指づかいなどが分かりやすくなるよう工夫されている。

・　伝統音楽などの指導の充実が求められているが，その扱いについて，対応されているか。また，和楽器への興味を抱かせることは難しいのではないか，説明願う。

⇒　どちらも対応されている。また，本市では，ふれあい文化教室で和楽器に触れる体験や機会があり，生演奏や体験をすることで，興味を持たせることができている。

・　音楽づくりの時などに，音楽科のプログラミングには対応できているか，説明願う。

⇒　音楽づくりにおいて，リズムや旋律の音楽づくりを行っており，段階をおって指導している。

・　共通教材以外の曲のバランスや選曲についてはどうか，説明願う。

⇒　共通教材は，どちらも網羅されている。曲については，教育出版社では，親しみやすい歌唱曲が多いという意見があった。また，発達段階に応じて表現できるような楽器の奏法も工夫されている。教育芸術社では，歌唱の楽曲でイメージにつながるヒントが示されている。器楽においては，演奏技能が身に付くような，段階を踏んだ活動の流れやキャラクターのアドバイスが分かりやすく示されている。どちらも魅力的な曲が選曲されている。

・　音楽高校では，鑑賞教育を重視しており，鑑賞をして言葉で表現することと鑑賞をして楽器で演奏するといったことを重視しているが，その観点で見たとき，教育芸術社では，言葉で表現するようになっており，教育出版は，鑑賞が手段になっている気がするが，その辺はいかがか，説明願う。

⇒　どちらの出版社も並行して学んでいくようになっており，A表現，B鑑賞及び〔共通事項〕が，相互に関連付けられるよう配慮されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　教育出版　）

（２）主な理由

・　本書は，表現と鑑賞が並行して学べるよう楽曲が配列されており，音楽を形づくっている要素を各領域に関連づけられるよう配慮されている。

・　また，楽器の写真や挿絵が効果的に掲載されており，視覚的に知識を得て，演奏技能が向上するような仕組みが考慮されている。

・　さらに，楽曲ごとに「音楽のもと」が示され，学習の見通しや活動が分かりやすくなるよう紙面構成が配慮されている。

１　種目　<u>　図画工作　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

　調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

　調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　焼窯設備に関する記載について，説明願う。

⇒　日本文教出版では，学校に焼窯設備があるという前提で作品例が記載されているものと考えるが，本市の実態としては，学校に焼窯設備がないということである。

・　両者とも中学年で，彫刻刀や糸のこぎりの使い方に関する記載がされているが，どちらの方が，安全指導をしやすいよう記載されているか，説明願う。

⇒　開隆堂の方が，より分かりやすく記載されており，十分配慮されていると考える。また，安全指導については，教員が授業を通して直接指導をしている。

・　両者とも児童の発想やひらめきを大切にした記載がされているが，児童が形や色へのイメージを他者に伝えるための手助けとなる記載について，説明願う。

⇒　両者とも児童の発言例や題材の作品例を記載することで，児童の気付きを手助けできるよう記載されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　開隆堂出版　）

（２）主な理由

・　本書は，児童が，見通しをもって自ら学習に取り組めるよう「学習のめあて」が明確に示されている。

・　また，児童が発想を広げ，言語活動が活発になるような身近で多様な表現の参考作品が多く紹介されている。

・　さらに，児童の発達の段階を踏まえ，学んだ知識や技能を活用しながら活動が展開できるよう題材が設定されており，例えば，低学年で用いた材料をもとに，中学年で新たな材料を用いたり，表現技法を活用させたりすることができるよう工夫されている。

１　種目　<u>　家　庭　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

　調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

　調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　様式１－１の東京書籍の３つ目に「題材のまとまりが大きく，各題材で学ぶ内容が多いため，より分かりやすく構成することが望まれる。」とあるが，どのようなことか，説明願う。

⇒　家庭科は，５年生と６年生の２学年間で学習することが全て一緒に学習指導要領に書かれており，何年生で何を学習するのかが示されていない教科であるため，教科書会社は工夫して題材を組んでいる。例えば，「住まい」の学習は，「整理・整頓」と「清掃」を学ぶことになっているが，東京書籍では，一緒の題材にまとめられており，開隆堂では，分かれている。題材が細かく分かれている方が，指導する内容がはっきりしていて担当する教員が指導しやすく，各学校で年間指導計画を作成する際に，題材の組み替えを工夫することができる。

・　包丁やミシンなどが無い家庭もあり，扱いが不慣れな児童がいると思うが，安全面においてどのような配慮がなされているのか，説明願う。

⇒　東京書籍，開隆堂ともに，安全には気を配っており，「安全マーク」で示している。特に，開隆堂では，見出しをつけた上で細かな説明をしている。

・　家庭での実践につなげるために，効果的な記述はあるか，説明願う。

　また，調査員の中からは，どちらの教科書の方が，効果的に家庭実践できそうだという意見は出たのか。

⇒　学習指導要領に「生活の課題と実践」が新設されたため，東京書籍，開隆堂ともに意識されており，「生活の課題と実践」のページや学んだことを生活に生かすことを促す記述があった。

　「生活の課題と実践」は，学んだ知識や技能を活用して自分の生活の中から課題を発見して解決するという一連の流れで学習するものであり，開隆堂は，「生活の課題と実践」のページを教科書の中ほどにまとめているため，その意図がくまれやすいのではないかという意見が調査員から出た。

・　様式１－１の開隆堂の５つ目に「学習指導要領の指導内容に沿って，明確に題材が配列されている。」とあり，どういうことかと思ったが，閲覧中に質問したり，先ほどの質問の回答を聞いたりして，「整理・整頓」と「清掃」を別々の題材にしていることや，「住生活」や「衣生活」についても題材を分けて配列していることだと理解した。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　開隆堂出版　）

（２）主な理由

・　本書は，学習指導要領の指導内容に沿って，明確に題材が配列されているとともに，自己の成長を感じつつ，自分の生活に生かすことができるように題材構成が工夫されている。
・　また，安全に気を付ける場面には，紙面に，「安全マーク」を付し，分かりやすい見出しとともに，安全面の配慮が具体的に示されている。
・　さらに，学んだことを家庭での実践につなげられるよう，「レッツトライ　生活の課題と実践」に実践例が複数まとめて示されており，児童一人一人が自分の課題に応じて実践できるように工夫されている。

１　種目　<u>　保　健　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　インターネットによる被害についての記載はあるが，加害者にもなりうるという記載があると良いかと思うが，説明願う。

⇒　加害者になりうることについては，授業で担任がふれている。東京書籍は，インターネットによる犯罪被害について，他社より分かりやすく説明されていた。

・　病気やけがにならないようになど，児童自身の実践につながる指導のしやすさという点でどうだったか，説明願う。

⇒　今回の改定では，指導内容について大きな変更はないが，実践的な内容を「技能」として扱うことになった。5年生の「心の健康」においては，悩みなどがあったときの効果的な対処の仕方について紹介されている。また，「けがの防止」では，災害に関する写真などを用いて，自分のこととして捉えられるよう工夫されている。

・　各者とも課題解決的な学習が進められるよう工夫されていたが，調査員会の中で，課題発見の視点で特に効果的であると意見がでたものは何か，説明願う。

⇒　東京書籍では，各時間の最初に，課題を捉えられるような問いがあるとともに，課題を調べ解決することや，友達と交流し伝え合うことなど，対話的な学びの中で身に付けていくことができるという意見がでた。

教科書でありながら，ワークシートとしても活用でき，補助的な資料も記載されていることから，教科書だけで学習が成り立つという感想がでていた。

・　インクルーシブ教育，道徳的観点からどのような配慮がされているか，説明願う。

⇒　各者配慮されているが，東京書籍では，ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに，改行が全て文節で行われているなど，学習に取りかかることが苦手な児童にも学習しやすいよう考えて作られていた。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，学習の展開が統一され，児童自身が課題を見つけ，その解決を目指した活動を通して，学習内容を身に付けることができるよう配慮されている。

・　また，単元の始めに，他教科との関連や系統性が示されており，今まで学習したことやこれから学習することに関心をもち，理解を深められるようになっている。

・　さらに，「UD フォント」の採用や，記入例を掲載するなど，多面的に児童が取組みやすい配慮がされている。

１　種目　英　語

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　(「⇒」は，説明員の回答)

・　英語を指導することは小学校の教員にとって大きな負担であると思われるが，教科書にそういった配慮はなされているのか，説明願う。

⇒　教科書の指導書などが充実しており，教える側への支援がなされている。

・　音声面などを家庭でも学習できるような配慮がされているのか，説明願う。

⇒　今回の採択においては教室環境における使用場面と限定しているため，デジタルコンテンツ等に関しては調査の対象外としているが，どの出版社も工夫がされている。

・　『外国語活動』と『外国語科』の学びの接続が児童にとって円滑に進むよう配慮されているか，説明願う。

⇒　学年の当初に接続する内容が設置されているものもあれば，学習を進めて行く中で単元の過程の中で内容の接続を設置しているものもあり，各者とも配慮している。

・　英語の学習内容が小学生にとって難しいものではないかと感じるが，説明願う。

⇒　小学校において英語が教科化されることに伴い，これまで中学生の外国語科の目標であった「コミュニケーションの基礎を養う」が小学生の高学年へ,「コミュニケーションの素地を養う」は中学年へと学習内容が下の学年へと移行されてきたため，学習する内容は以前よりも多くなっている。しかし，発達段階における工夫がされており，小学校では「聞くこと」「話すこと」を活動の中心としており，文字指導については，音声によるコミュニケーションを補助するものとして取り扱われ，過度の学習負担にならないように配慮されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照)

（１）選定した発行者　（　光村図書出版　）

（2）主な理由

・　本書は，会話活動が身近な生活体験に基づき，自己表現ができる機会が設定されているとともに，あいづちや誉め言葉などを繰り返し示し，相手意識をもたせたり，やりとりを続けたりできるような工夫がされている。

・　また，単元末の You can do it において，児童が学習した語句や表現の中から適切なものを選びながら，自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動が設定されている。

・　さらに，ユニットごとの Fun Time で，学習活動の内容が発展的に広がるよう工夫されている。

１　種目　<u>　道　徳　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考１」「参考２」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，説明員の回答）

・　別冊ノートが付いている場合と付いていない場合があるが，それぞれの一長一短について調査員はどのように考えているか，説明願う。

⇒　授業に際し，道徳ノートやワークシート等を用意している学校が多いため，別冊ノートが付いていなくても支障はないと考える。別冊ノートには決まった発問が掲載されていることから，児童の実態に応じた発問を工夫する上では，かえって使いにくいなどの意見も出された。

・　道徳科で学んだことが生活に結び付きにくい実態があるという説明があったが，実践に結び付くための各社の工夫について，説明願う。

⇒　そもそも道徳科で学んだことが，そのまま行動に結び付くとは考えていない。道徳科においては，学んだことを生かして自分の生き方につなげていくことが大切であると考えていることから，各社とも，ソーシャルスキルトレーニングや体験的な学習を取り入れていると受け止めている。

・　日本文教出版の「学習の手引き」について，説明願う。

⇒　読み物教材の最後にある「考えてみよう」「見つめよう・生かしてみよう」が学習の手引きとなっており，児童も学習の流れが分かるようになっている。これは学習の目安であり，児童の実態に応じて，発問や学習活動等を変えることも適宜行っている。

・　様式１－２の１（３）の視点では，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け，東京書籍，日本文教出版，学研教育みらいの３者に二重丸が付いているが，その中でも，学びの質を高めるためによい教科書は何か，説明願う。

⇒　道徳科における「主体的・対話的で深い学び」は「考え，議論する道徳」の実現であるが，各者とも，問題解決的な視点を重視するなど教材を充実させている。特に東京書籍においては，「考えるステップ」に何を考え，話し合うのか分かりやすく

示されており，話合いに重点を置くことで，「考え，議論する道徳」を実現させようとしている。

4　採択協議会における選定結果（「参考１」「参考２」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，いじめや情報モラル，食育，防災教育等の今日的な課題に対応した題材を教材として扱うことにより，児童が様々な視点で学ぶことができるように十分配慮されている。

・　また，「活動型教材」や読み物教材に付属する「出会う・ふれ合う」において，コミュニケーション活動を通して児童の多様な考えを引き出す工夫がされている。

・　さらに，各教科等で道徳性の育成につながる教材や学習活動が十分に取り上げられており，効果的な道徳教育ができるよう工夫されている。

１　種目　<u>　小学校特別支援学級　学校教育法附則第９条図書　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった５種６点について，調査員６名で調査し，その結果を調査研究資料により報告した。（「参考３」参照）

（２）図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し，調査研究および報告に対する確認を行うとともに，選定について検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容

・　「にほんちずのえほん」は，これまで採択されていた図書と比べてどちらが適切といえるか。

⇒　「にほんちずのえほん」は，これまで採択されていた，「いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図」と比べて，文字が大きく平仮名で表記されており読みやすいが，地図帳を使って調べる等の学習を行う上で内容が不十分である。

・　「ゆっくり学ぶ子のためのさんすう１」は，各ページに指導の手立ての解説が載っているが，児童が学習する上で邪魔にならないか。

⇒指導上の手立てが記載されている部分については，児童にとって必要ではないため，頁の構成について配慮が望まれる。

・　「みぢかなやってみよう図鑑」は，自然との関わりについての内容に偏っており，自分自身の生活や成長，社会との関わりについての内容が不十分であり改善が望まれる。

・　「リズム♪でおぼえるえいかいわ」は，ＣＤやアプリが使用できることについて，授業で活用できるものか。

⇒ＣＤについては，発音や会話表現の練習で授業の中での活用が考えられるが，アプリについては，スマートフォンなどへのインストールが必要であり，授業の中での活用は難しい。

・　「いちばんわかりやすい　小学生のための学習日本地図帳」は，学習指導要領で示されている内容の記載がない部分が見られるが，児童が地図として興味関心をもてる内容になっていることや，発達の段階に合わせて活用することのできる内容となっている。

・　「小学館の子ども図鑑プレＮＥＯ　楽しく遊ぶ学ぶ　せいかつの図鑑」は，学習指導要領において取り扱われている内容で一部記載がない部分もあるが，大人にとっても，衣食住の内容について具体的で分かりやすく，児童にとって興味・関心を高められると考えられる。

４　採択協議会における選定結果

（１）「にほんちずのえほん」

・結果：　選定しない

・理由：　学習内容に示されている日本の地域についての内容に限定されており，世界に関する内容がほぼ取り上げられていないことや，都市や地形，産業の記載が少なく系統性や発展性について考慮されているとは言えない。

（２）「ゆっくり学ぶ子のためのさんすう１」

・結果：　選定しない

・理由：　学習指導要領に示されている領域の内容について，量の概念，比較，弁別についての学習に限定されており，児童の発達の段階に合わせた内容となっておらず，年間を通して学ぶ量としては不十分である。

（３）「みぢかなやってみよう図鑑」

・結果：　選定しない

・理由：　それぞれの季節による自然の変化の様子が取り上げられているが，自分自身の生活や成長，社会及び自然との関わりに関する内容が取りあげられていないことや，上学年の内容が取り扱われており改善が望まれる。

（４）「リズム♪でおぼえるえいかいわ」

・結果：　選定しない

・理由：　言語活動を通して体験的に学ぶことができず，コミュニケーションに関する内容が不十分であることから，英語で表現したり伝えあったりする内容についての取り扱いが十分とは言えない。

（５）「いちばんわかりやすい　小学生のための学習日本地図帳」

・結果：　選定する

・理由：　日本各地の特徴が分かりやすく豊富に取り上げられていて，児童の興味・関心に応じた内容となっていることや，児童が地図を使った学習の基本について学習することができる。

（６）「小学館の子ども図鑑プレＮＥＯ　楽しく遊ぶ学ぶ　せいかつの図鑑」

・結果：　選定する

・理由：　技能的な内容についての写真やイラストが豊富に使用され，興味・関心を高めて取り組むことができるように配慮されており，衣食住を中心に様々な内容が取り上げられており，日常生活の中で実践できるよう具体的な方法が示されている。

１　種目　<u>　中学校特別支援学級　学校教育法附則第９条図書　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった３種３点について，調査員５名で調査し，その結果を調査研究資料により報告した。（「参考４」参照）

（２）図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し，調査研究および報告に対する確認を行うとともに，選定について検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容

・　「るるぶ　地図でよくわかる都道府県大百科」は，内容が日本限定で世界の内容が取り上げられていないということであるが，現在採択されている附則９条図書の中にも日本地図帳があるのはなぜか。

⇒　現在採択されている図書は，内容が日本中心ではあるが，全く世界の内容がないわけではなく，生徒の生活に役立つことから採択された。

・　「１０歳からのお料理教室」は，名称にある「１０歳からの」という年齢表記について，使用する生徒の心情面を考慮すると，配慮が望まれる。また，例えば材料を切るときに，写真では示されているが，何切りで何センチ程度に切るなどの表記が不足しているところもあるため，家庭で保護者と一緒に個別で行うときには向いているが，学校で使用する教科書としては不十分である。

・　「今も昔も大切な１００のことば」は，図書のサイズが小さく，文章と簡単なイラストのみの構成であるため，内容を理解することが難しいと考えられ，改善が望まれる。

４　採択協議会における選定結果

（１）「るるぶ　地図でよくわかる都道府県大百科」

・結果：　選定しない

・理由：　日本の様々な地域についての内容に限定されており，学習指導要領に示す世界に関する内容が取り扱われていない。また，文字や写真が小さく，情報量が多いページがあり，個に応じることが難しい。

（２）「１０歳からのお料理教室」

・結果：　選定しない

・理由：　学習指導要領の食生活の料理に関する内容に限定されており，家族・家庭生活に関することや消費生活・環境に関することについては取り扱われていないため，内容が不足している。

（3）「今も昔も大切な１００のことば」

・結果：　選定しない

・理由：　学習指導要領の自分自身や人との関わりに関する内容は取り上げられているが，集団や社会との関わり，生命や自然などについては取り上げられておらず，内容が不足している。また，文章は抽象的な表現も多くあるため分かりにくく，生徒の発達の段階に適応していない。

１　種目　<u>　国　語　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考５」「参考６」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　文法について，生徒が主体的に学習を進める上での各教科書会社の内容は，どのようになっているか，説明願う。

⇒　各教科書会社とも，内容に大きな違いは見当たらない。生徒の学習に対する主体性を育むことについては，教科書の内容のみならず授業における指導が重要であると考える。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習前に，言語に関する基礎的な知識・技能を学び，効果的な言語活動ができるよう工夫されている。

・　また，学習内容の理解が深まるよう，単元の教材構成が工夫されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「『話すこと・聞くこと』『書くこと』の学習の始まりに言語活動を含む『学習の流れ』により学習の見通しをもつことができる。」，また，「全学年とも『学習の進め方・教科書の使い方』により主体的に学習ができるよう配慮されている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　書　写

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考５」「参考６」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　教育出版において,「社会で生きる文字」というページを設定しているが，学校では，どのように活用しているか，説明願う。

⇒　社会体験学習などキャリア教育をはじめとした学校の教育活動において，話合いやプレゼンテーション活動等と関連付けて活用している。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　教育出版　）

（２）主な理由

・　本書は，楷書や行書について筆順が分かりやすく示してある。

・　また，基礎的・基本的な学習から発展的な学習までの経緯を図で分かりやすく示している。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは,「筆使いや基本点画について，コンパクトに分かりやすく示されている。」，また,「学年ごとに色分けされており，学習内容が分かりやすく示されているとともに系統的に指導できるよう工夫されている」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　社会（地理的分野）　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　領土や領海などの問題について，政府の見解などの観点から，説明願う。

⇒　我が国固有の領土である竹島や北方領土については，隣国との問題が残されていること，尖閣諸島については，領土問題は存在しないことに触れるなど，各者とも，政府の見解，学習指導要領に基づき，同じような記述されている。

・　新たな島の誕生や，地形が変わる場合などの学校での対応について，説明願う。

⇒　新たなニュースや世の中の動きを，授業で取り上げることは，生徒の興味，関心を促し，主体的な学びの導入として有効であるため，先生方は，新しい問題等と取り上げて，授業改善に努めている。また，国名が変わるような場合については，発行者も出版年度ごとに，訂正を行っており，先生方が補足することにより，生徒には，最新の情報が伝えられている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，単元ごとに様々な学習のまとめ方が提示されており，それを基にして言語活動を充実させるための課題が設定されている。

・　また，「身近な地域の調査」では，よりよい地域にするためにはどうしたらよいかという視点を明示し，それに沿った調査方法を提示している。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「『調査の達人』というコーナーを設け，地域調査の手順や必要な技能を示し，地理的な見方や考え方の基礎を培うよう配慮されている。」，また，「各章の最初に，小学校で学習した内容がキーワードや写真で示され，教科指導の７年間の系統性について配慮されている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　社会（歴史的分野）　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　歴史的問題の扱いはどうなっているか，説明願う。

⇒　例えば，南京事件，文禄・慶長の役について，学者の説も様々なため各発行者の表現の違いがある。各教員は解釈について，生徒に幅をもたせて指導している。

・　新しい社会的事象は年表等に反映されているのか，説明願う。

⇒　発行年以降の出来事については，反映されていないため，各教員は例えば過去の出来事と関連させて時事問題を扱うよう配慮している。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　帝国書院　）

（２）主な理由

・　本書は，各時代の冒頭に，その時代をイメージしやすいような見開きのイラスト「タイムトラベル」が描かれているとともに，絵画資料や文書資料が大きく表示され，生徒の興味・関心を高める工夫がされている。

・　また，見開きごとに言語活動を充実させるための課題を位置付けている他，章のまとめでは「学習を振り返ろう」を設け，時代の特色を文章により生徒自身の言葉で表現させている。

・　さらに，平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「学習内容を補充するために，「時代をふりかえって」を設定する工夫がされている。」，また，「『地域史』，『人権』，『交流』などテーマごとのコラムを随所に設け，他分野，他教科との関連が図りやすい配慮がなされている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　社会（公民的分野）　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　「帝国書院」の教科書について，「技能をみがく」により，ディベートやロールプレイングなどを学校はどのように活用しているか。また，子どものたちに技能は身に付いているか，説明願う。

⇒　各学校では，生徒の身近にある社会問題を解決するために，「技能をみがく」コーナーで紹介されているディベートやロールプレイグの例を活用し，自分の意見を整理したり，主張したりする力を確実に高めることが出来ている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　帝国書院　）

（２）主な理由

・　本書は，『トライアル公民』において，学習した内容について自分の考えをまとめたり，説明や意見交換をしたりする多様な活動が設定されている。

・　また，『技能をみがく』により，ディベートやロールプレイングなど自分なりの考えをもつための基礎的な技能を身に付けられるように工夫されている。

・　さらに，平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「各部の前に『学習の前に』が設けてあり，イラストや写真を見て身近な暮らしと関連付けながら学習を進められるよう工夫されている。」，「見開き左上にある『クローズアップ』のコーナーで，身近な事例からその日の授業に興味・関心をもたせるよう工夫がされている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　地　図　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　地図帳の統計資料のデータについて，説明願う。

⇒　統計資料については，対象ごとに，データの収集，作成方法，時期などに違いがあるため，最新年度の資料を地図帳に掲載することは難しい。また，生徒には，資料から傾向をつかませたり，大観させたりすることが大切であるため，授業者は，地図帳に掲載されている資料を活用する一方，大きな変化がある場合には，インターネット，書籍等を通して最新の情報を取り入れ，柔軟に対応しながら，授業を展開するよう努めている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　帝国書院　）

（２）主な理由

・　本書は，日本の自然・産業・暮らしが各地方で掲載されている上，日光東照宮や日光国立公園など栃木県との関連が図れる資料が掲載されている。

・　また，北極海での地球温暖化や中国の大気汚染など，近年問題になっている環境問題についても取り上げられており，日本の領土についても，排他的経済水域の範囲や他国との面積の比較を掲載し，生徒が理解しやすいよう工夫されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「『地図を見る目』により，地図を読み取る力が身に付くよう工夫されていたり，『やってみよう』により，発展的な問いが示されていたりするなど，生徒が主体的に学習できるよう配慮されている。」，また，「『環境』のコーナーでは，世界や日本の環境問題を，『防災』のコーナーでは，被害だけでなく防災対策の重要性を示すなど，現代社会の課題と対策が取り上げられており，社会の変化に対応できるよう配慮されている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

1　種目　<u>　数　学　</u>

2　選定協議

（1）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（2）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　算数・数学はつまずきがあると先に進むことが難しい教科であると認識しているが，現在使用している東京書籍の教科書における，小学校算数から中学校数学への連動性についてはいかがであるか，説明願う。また，３年生において高校受験を踏まえた学習をする際に，教科書を用いて１・２年生や小学校算数の振り返りなどを行うことはできるのか，説明願う。

⇒　小学校において学習した内容を用いる場面では，「ちょっと確認　算数」として関連する既習事項が示されており，確認や復習をしながら学習を進められるようになっている。また，１年生の教科書の巻末では「学びをつなげる　算数のふりかえり」として小学校における学習内容の振り返りが，２・３年生の教科書では一つ前の学年で学習した内容の振り返りが設定されているとともに，すべての学年に「活用の問題」が設定されており，必要に応じて当該学年以外の教科書も用いながら，学年をさかのぼって復習をしたり，応用力を育んだりすることができるよう，各教員が指導を工夫している。

4　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（1）選定した発行者　（　東京書籍　）

（2）主な理由

・　本書は，自分の考えを表現し，友達の意見を聞いて考えを深めるなどの充実した言語活動が行われるよう工夫されている。

・　また，巻末に，算数や前学年までの学習をまとめるコーナーを設定するなど，発達の段階に考慮されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「『考えてみよう』，『調べてみよう』などの毎時間の課題が生徒の問いを引き出す内容になっているとともに，挿絵や図が工夫され，興味・関心をもって取り組めるようになっている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　理　科　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考５」「参考６」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　以前は，教科書が上下巻に分かれていたが，現在使用している教科書は，学年１冊にまとまっている。使い勝手としてはどうか，説明願う。

⇒　１冊にまとまっていることで，学習の振り返り等を行いやすく，使い勝手はよい。また，現在使用している教科書には，「振り返り」のコーナーがあり，系統的に学習ができるよう配慮されている。

・　現在使用している教科書には別冊がついており，補充的な学習等ができるようになっているが，実際の使用としてはどうなのか，またデメリット等はないのか，説明願う。

⇒　別冊には，探究的な学習をサポートする内容や，学習問題等が掲載されており，問題解決の力や学力の向上に効果がある内容となっている。デメリットとしては，強いて言うならば，生徒がなくしてしまうことではあるが，大きな問題ではない。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　新興出版社啓林館　）

（２）主な理由

・　本書は，「話し合ってみよう」「考えてみよう」が設定されており，話合いのポイントが明確にされ，充実した言語活動のために工夫されている。

・　また，主体的に観察・実験に取り組めるよう，目的意識のもたせ方や，手順の説明について工夫されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「『発展』や別冊の『ステップアップ』が用意され，補充的学習，発展的な学習に対応できるよう工夫されている」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　音楽（一般）　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

　調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(｢参考５｣｢参考６｣参照)

（２）教科書閲覧

　調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（｢⇒｣は，事務局書記の回答）

・　新曲とはどのくらいの頻度で増やしていくのか，また，生徒が意欲的に歌ったりできるような新曲とはどのようなものか，説明願う。

⇒　例えば，流行りの曲であれば掲載には多少の時間がかかるものもある。また，意欲的に歌ったりできるような新曲とは，現在，多様な合唱教材が掲載されているが，合唱コンクールなどで今まで歌われていなかった新曲があると生徒の興味や意欲がわくのではないかという意見である。

４　採択協議会における選定結果（｢参考５｣｢参考６｣参照)

（１）選定した発行者　（　教育芸術社　）

（２）主な理由

・　本書は，すべての教材に，学ぶべき〔共通事項〕が記号で分かりやすく示されている。

・　また，「ここが分かればGrade Up!」では，グループでの合唱や合奏の際に，音楽を高めるためのステップを示すことで，話合いを充実させるよう工夫されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，｢教材ごとに分かりやすい言葉で目標が示されており，｢My Melody｣の学習活動では，手順に沿って，キャラクターの吹き出しを読みながら，主体的に学習できるよう配慮されている。｣などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　音楽（器楽合奏）　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考５」「参考６」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　ギターを学習するページには，コード表のみならず，指づかいの写真を掲載するなど視覚的な工夫が望まれるというような改善の余地があるようであるが，現在，ギターを学習する学校は何校くらいあるのか，説明願う。

⇒　学校の実情に合わせて授業が行われている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　教育芸術社　）

（２）主な理由

・　本書は，言語活動につながる資料として，「ここが分かればGrade up!」において，グループでの合奏などの際に，音楽を高めるためのステップを示すことで，話合いを充実させるよう工夫されている。

・　また，リコーダーの学習において，音域や指づかいなど基礎的・基本的な内容が順序よく学べるように曲が配列されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「補充的な学習，発展的な学習ができるようアンサンブルの教材が充実している。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　美　術　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

　調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考５」「参考６」参照)

（２）教科書閲覧

　調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　開隆堂の特徴として，「道徳の学習との関連が分かるよう配慮することが望ましいとある」が，どのようなことか説明願う。

⇒　個人や共同制作，鑑賞活動を通して扱った内容等を道徳の学習に活用するために，その関連が分かるよう配慮することが望ましいということである。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　開隆堂出版　）

（２）主な理由

・　本書は，表現及び鑑賞の内容と，すべての学習で必要となる資質や能力を示した〔共通事項〕の内容を，十分に関連付けて展開できるよう工夫されている。

・　また，本地区の各中学校が学校や地域の状況に応じて取り組むことができるよう工夫されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「多様な表現の作品が掲載されており，生徒が関心・意欲を高めながら，主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　保健体育　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　小学校の教科書では，不安や悩みがある際の相談窓口のダイヤルが掲載されていたが，中学校の教科書では，ダイヤルまでは掲載されていなかった。ぜひ，相談窓口の連絡先などを，授業などで周知していただきたい。

⇒　保健体育の授業だけでなく，学校教育全体で対応していく。

・　「学研教育みらい」の教科書にある「ウォームアップ」の内容が，発達の段階に応じた，よい内容のものになっている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　学研教育みらい　）

（２）主な理由

・　本書は，感染症及び性感染症に関する写真やグラフ・イラスト等の資料が充実しており，分かりやすく示されている。

・　また，各単元に言語活動の充実につながる学習活動が設定されているとともに，各単元の初めには，小学校の学習内容が記載され，小・中学校の系統性に配慮されている。

・　さらに，　本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「『ウォームアップ』により，発達の段階に応じた問いかけがされるとともに，日常生活と関連付けて考えることができるよう工夫されている。」，また，「小・中学校の系統性に配慮された構成となっており，学習内容を見通すことができるよう工夫されている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

1　種目　<u>　技術・家庭（技術分野）　</u>

2　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　宇都宮市ではプログラミング学習の教材として，どのようなものを使用して授業を行っていくのか，説明願う。

⇒　新学習指導要領では，ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングと計測・制御のプログラミングの２種類を行うこととなっている。宇都宮市ではヤマザキ教材のプロッチという教材を購入し，２種類のプログラミング学習を行うこととしている。

4　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　東京書籍　）

（２）主な理由

・　本書は，社会で活躍している技術に携わる方からの簡単なコラムやコメントが掲載されており，日常の技術について興味をもたせるよう工夫がされている。

・　また，技術の評価・活用の内容において，「生活に生かそう」や「評価・活用してみよう」という見出しがあり，話合いがしやすくなるよう配慮されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「持続可能な社会の実現に向けて，事例を使って話合いを充実させる題材が工夫されていることや，普段見ることのできない最先端の科学技術について，写真や資料を用いて詳しく説明されており，生徒の興味・関心を高められるよう配慮されている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　　技術・家庭（家庭分野）

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考５」「参考６」参照）

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　現在使用している教科用図書は，他教科との関連についてどのように示されているのか，説明願う。

⇒　「リンクマーク」を付け，どの教科のどの内容と関連しているのかが示されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　開隆堂出版　）

（２）主な理由

・　本書は，生徒が自分の生活の中から課題を見つけ，よりよく考えて解決し，結果を自分なりに表現するための方法が，「言語活動の充実のために」のページで示されている。

・　また，日本各地の住まいなど，様々な地域の特徴を，より具体的に知ることができるように工夫されていることに加え，巻末では，「安全と防災」「伝統文化を受け継ぎ，生活に生かす」のページが設けられている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「実習例が多様で，写真や図・グラフなどの資料も充実しており，作業の仕方などが分かりやすく，生徒の興味・関心に適応している。」，また，「調理実習などにおいて『安全マーク』を用い，その都度気を付けることが示されており，生徒に注意を喚起することができる。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。

１　種目　<u>　英　語　</u>

２　選定協議

（１）調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。(「参考５」「参考６」参照)

（２）教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

３　採択協議会における主な協議内容　（「⇒」は，事務局書記の回答）

・　教科書における小学校から中学校への系統性について，説明願う。

⇒　どの教科書においても，小学校と中学校とのつながりに配慮しており，主に第１学年の教科書において冒頭数ページに振り返りの活動が設定されている。

４　採択協議会における選定結果（「参考５」「参考６」参照）

（１）選定した発行者　（　開隆堂出版　）

（２）主な理由

・　本書は，各 Program と My Project の内容につながりがあり，充実した言語活動が行えるようになっている等，自分の意見や思いを表現できる力が育成されるよう工夫されている。

・　また，巻末資料の「できるようになったことリスト」により，生徒が見通しをもって，主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。

・　さらに，本書を平成２８年度から使用している中で，地区内の教員からは，「四つの技能別の『できるようになったこと』リストにより３年間を見通した学習到達度が明確にされており，目標をもってコミュニケーション能力を身につけることができるように工夫されている。」，また，「日本文化についての理解を深めることができる題材が数多くあるとともに，環境問題や国際協調について考える題材が豊富に取り上げられており，生徒の関心や意欲を高める工夫がされている。」などの声があり，使用する上で問題はなかった。